

# 12月のできごと



## 生演奏に感動

12月2日、安平小学校で札幌交響楽団メンバー6人による「ふれあいコンサート」が行われました。

身近なクラシックやアニメソングなどで全校児童、保護者、地域住民を魅了。他にも、鼓笛隊との合奏や楽器に触れるコーナーもあり、音楽にふれた1日となりました。

今回のコンサートは、苫小牧近郊の学校で、毎年開催されているそうです。



## 上手になったかな

せいこドームでは、アイスホッケーの普及、競技人口の拡大を目的にアイスホッケー体験教室が行われています。

参加者の中には、上手なスケーティングやスティックさばきを見せる子も。

アリーナには、笑顔や楽しそうな声が響き、アイスホッケーやスケートの楽しさを感じている様子が伺えました。

この体験教室は、3月まで行われる予定です。

## 年末年始も安全運転で

12月6日、老人クラブ友会の皆さんによる手作りの車用しめ飾りが配布されました。

走行中、追分弥生パーキングエリアに誘導されたドライバーの皆さんは「何事か」と不思議顔でしたが、「手作りのしめ飾りです。安全運転でお願いします」と声をかけられ、「手作りなんていまだき珍しい」と驚きつつ笑顔で受け取り、「寒い中ご苦労様です」と互いに労う様子が見られました。



## 新しいグラランドピアノを寄贈

12月6日、故佐藤信子さんの親族から追分公民館にグラランドピアノが寄贈されました。生前、信子さんは公民館で開催されるコンサートに足を運び音楽を楽しんでいたこともあり、現在公民館で使用中のピアノの調子が良くないということからピアノを寄贈することに決めたそうです。

親族は「新しい音楽活動が始まってくれたら」と話してくれました。

## 万が一の事態に備えて

12月8日、ぬくもりセンターで「赤十字救急法基礎講習会」が実施され、事故や急病で苦しんでいる人を前にした時、迅速に一次救命措置ができるよう15名の町民が参加。異物除去の方法や傷病者の体位の変え方を学んだほか、模型を用いて人工呼吸・心臓マッサージを体験しました。

参加者からは「正しい救命方法を知れて良かった」と感想を聞くことができました。

